

# 第9回噴火湾ホタテガイ情報(2010年)

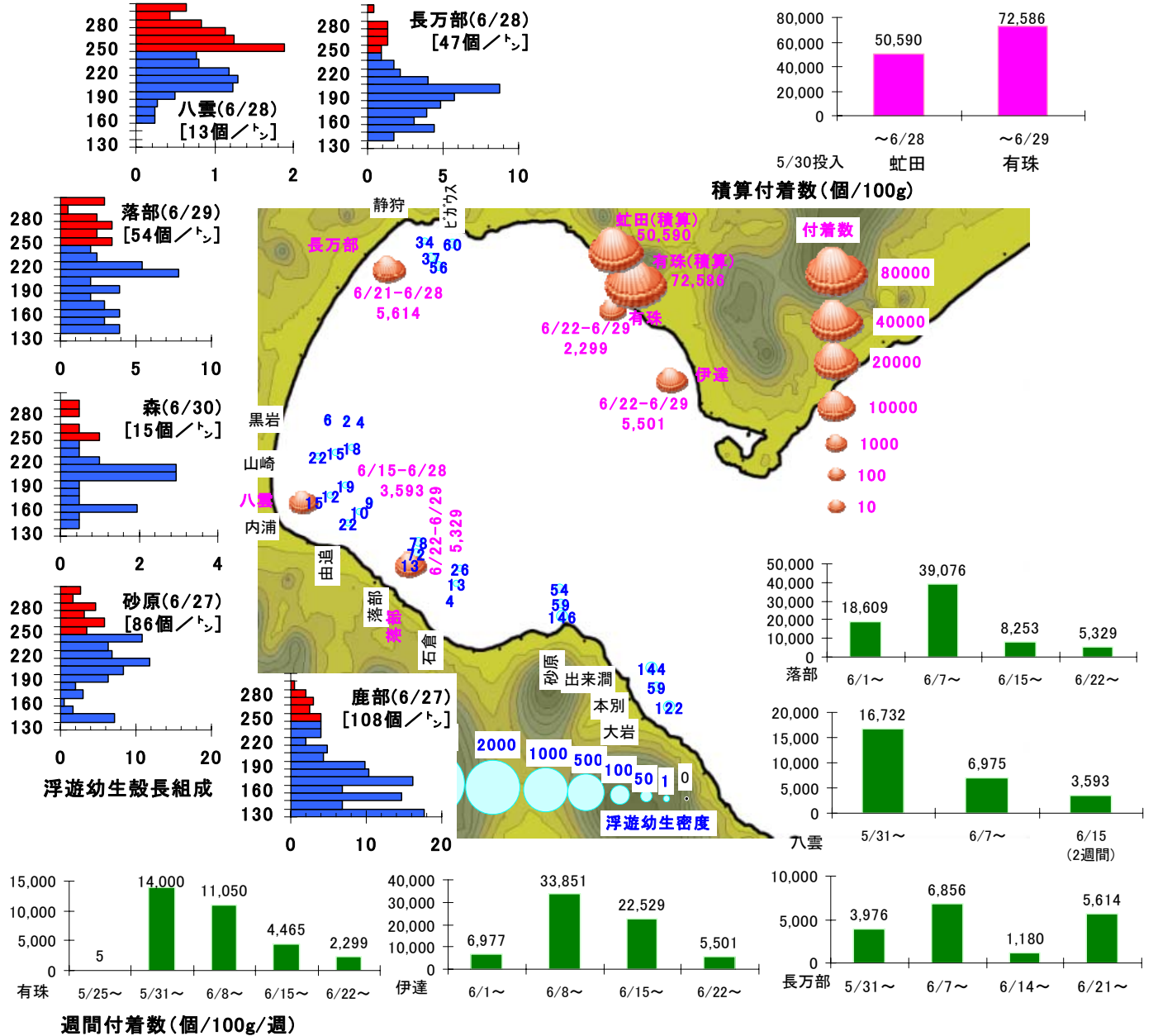
発行日：平成22年7月5日

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場

胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

図1. 浮遊幼生・付着数分布状況(6/27-6/30)

・丸の大きさと添付数字(青字)は幼生密度(個/ト)、貝の大きさと添付数字(ピンク字)は付着数(個/100g)



## 概要

6月27~30日に各地区指導所により、噴火湾沿岸部の浮遊幼生調査および付着数調査が行われました。浮遊幼生の分布密度は低下し、渡島側で2~146個/トになっています。ホタテガイ浮遊幼生の出現は終盤です。

週間付着数は、胆振側で2,299~5,501個/100g/週、渡島側では5,329~5,614個/100g/週と種苗の付着が続いています(八雲では2週間で3,593個/100g)。また、採苗作業の障害となるイガイの付着も多い状態が続いています。付着種苗のサイズは昨年よりも小さく、稚貝の採取時期は昨年より遅くなると予測されています。各地区指導所の採苗情報を参考に、採苗作業を続けてください。

胆振側の週間付着調査は今回で終了します。函館水試金星丸による全湾調査は7月5~7日に予定されています。

連絡先：函館水試 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・金森